

主題：神の奥義の執事

メッセージ 31

キリストの配偶者としての召会——シュラムの女の予表（2）

聖書：雅 6:13. 4:7. 5:10-16. 6:4. 7:7, 11-12. ヘブル 6:19. 13:12-13

I. ソロモンは、復活し栄光を現したキリストを予表し、シュラムの女は、復活と栄光を現すことの中にある召会を予表します——列王上10:1-9, 14-29. エペソ3:21. 5:27 :

A. 雅歌全体は、シュラムの女がどのようにソロモンを経験し、享受するかを描写しており、召会が復活したキリストを経験し、享受するかを予表しています—— 2:8-10 :

1. 雅歌におけるキリストは、復活したキリストです。キリストは死を経過し、死から出て来て、復活の中へと入りました—— 11-13 節。
2. わたしたちの中におられるキリストは、復活したキリストです。わたしたちが経験するキリストは苦難と死を経過し、今や復活の中におられる方です——ローマ 8:10-11. コロサイ 1:18, 27。
3. わたしたちが接触し、交わるキリストは、雅歌におけるキリスト、すなわち復活したキリストです—— 3:6, 9-10。

B. 予表としてのシュラムの女の焦点は、復活の中にある召会です—— 4:6 :

1. シュラムの女は召会の予表として、復活の中にある召会と、召会が復活したキリストを享受し経験する方法を中心としています—— 1:14, 17。
2. 復活は単に命であるだけでなく、いかなるものによっても、死によってさえも捕らえられ得ない命です。復活の意味とは、命があらゆる束縛、圧迫、監禁を突破し、それらによって捕らえられることがあり得ないということです——使徒 2:24。
3. わたしたちは復活の中に生きるなら、復活の中にある召会の一部、シュラムの女によって予表されているキリストの配偶者として生きます——ローマ 8:11. II コリント 1:9。

II. シュラムの女は、彼女の愛する方を高く評価します——雅5:10-16 :

A. 雅歌第 5 章 10 節から 16 節は、愛する花婿としての復活の中にあるキリストを描写しています。

B. 彼女の愛する方の印象を与えることにおいて、彼女は多くの卓越した、詳細にわたる表現をもって彼を賛美しています—— 10-16 節 :

1. 彼は復活の中で命と力に満ちています—— 10 節。
2. 彼の頭首権は神のものであり、彼が神に服従することは繁栄し、強力です—— 11 節。
3. 彼の感情の表現は単一で、純粹であり、彼はわたしたちに対して親密であり、

愛情深いです—— 12 節。

4. 彼が持っているすべては堅固で、揺り動かされることがなく、彼は超越しており、天的です—— 14-15 節。
5. そのような復活の中にいるキリストに対して、わたしたちは心の中で燃え、叫ばずにはられません、「これがわたしの愛する方、これがわたしの友です」(16 節)。

Ⅲ. シュラムの女は美しいです——雅1:15. 4:7, 10. 6:4, 10 :

A. キリストの配偶者として、召会は美しさを必要とします—— 4:7 :

1. 召会の美しさは花嫁をささげるためです——エペソ 5:27。
2. シュラムの女の美しさはキリストからきます。キリストは彼女の中へと造り込まれ、それから彼女を通して表現されます。彼女の美しさだけが彼女の内側からのキリストの輝きです—— 3:16-21. 雅 6:4, 10。
3. キリストがわたしたちの中で高く評価するのは、ご自身の表現です—— 4:7, 10-15 :

B. シュラムの女の美しさはさまざまな面において見られます :

1. 彼女の心の単一さから来る彼女の霊的な洞察力、識別力、認識において—— 1 節前半。
2. 神の感覚を通しての彼女の服従と、従順において—— 1 節後半。
3. 彼女の受け入れる力によって、彼女が神聖な食物を受け入れることにおいて。彼女の受け入れる力は、十字架によって対処されており、もはや彼女の天然の力によりません—— 2 節。
4. 彼女がキリストの贖いと権威を伴って語ることに—— 3 節前半。
5. 命に満ちており、隠されている彼女の表現において—— 3 節後半。
6. 服従する意志、また防御する力において豊かな意志を持っていることにおいて—— 4 節。
7. 二倍に強化されている彼女の優しい信仰と愛において—— 5 節。
8. 彼女が天の聖なる所（テルザ）のように美しく、天のエルサレムのように愛すべきであることにおいて—— 6:4。
9. 他の人たちを養うための彼女の内側の各部分と活動的な能力において—— 7:2-3。
10. 神に対して強い彼女の考えと意図において、彼女の献身のために、服従し、従順であることが、神の栄光を現すためであり、彼女の愛する方、すなわち王を捕らえることにおいて—— 5 節。

Ⅳ. シュラムの女は円熟しています——7節. 6:13 :

A. 彼女は円熟した身の丈において、キリストのようです—— 7:7。

B. 彼女の美德は神聖な命の円熟のしるしです—— 1-5 節。

C. 命において円熟することは、命で満たされること、固い食物を食べることができること（ヘブル 5:12-14）、理解力において完全に成長すること（I コリント 14:20）、奥義の中にある神の知恵を知ることができること、天の父が完全であるよう

に完全になること(マタイ 5:48)、からだを認識すること、からだの中で、からだのために生きること、からだを顧慮すること、からだを尊ぶことです(エペソ 4:13-16)。

- C. キリストの命における円熟において、シュラムの女はキリストの複製となり、神格においてではなく、命、性質、表現、機能において彼であるのと同じになります——雅 6:13。

V. シュラムの女は神の建造です——4節前半：

A. テルザとエルサレムが表徴するのは、神の聖なる所、神の住まいであり、神の聖なる都がそれを囲んで、その保護となります——4節前半：

1. 復活においてキリストの昇天の中に生きることを通して、キリストを愛する者はキリストの命の豊富において円熟します。それによって彼女は神の建造、神の聖なる所、その保護となります。
2. キリストを愛する勝利者が神と一となって、神の住まいとなるとき、神の目に彼女はテルザのように美しく、エルサレムのように愛すべきであるのです——4節前半。

B. 最上の愛をもって主を愛することによって、わたしたちは三一の神の中へと合併されて、ご自身の住まいとなります——啓 2:4. ヨハネ 14:20-21, 23. エペソ 3:17。

C. 神の聖なる所となることは、キリストの命における成長の中で、円熟へと至るその計り知れない豊富をもって建造されることです(キリストのからだを建造することと関係があります)——エペソ 4:12-16：

1. からだの建造は有機的であり、わたしたちの成長と命における円熟にかかっています——15節。
2. 究極的に、キリストの妻でもある(5:25-32)このキリストの有機的なからだの建造は、新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムは至聖所の究極的完成としての聖なる都、すなわち永遠における神とご自身の贖われた民との相互の住まいです。——啓 21:2-3, 16, 22。

VI. シュラムの女は軍勢です——雅6:4後半, 10：

A. 神の建造は常に軍勢です。わたしたちが主にとって都となるとき、敵にとって軍勢です——4節後半, 10：

1. シュラムの女は敵にとって旗を掲げた軍勢のように恐ろしいのです。
2. キリストを愛する者は、主の御前で美しく、麗しく、天の都のように堅固であり、聖なる所のように静かです。同時に、彼女は敵とこの世の前で勝利の栄光を展覧します。

B. 恐ろしい軍勢は、主の勝利者が敵サタンを恐れさせることを表徴します——4節後半, 10：

1. 敵は、神の都として建造されている召会によって脅えます——ネヘミヤ 6:15-16. 詩 102:12-16。
2. サタンは、たとえ何千もの個人主義的なクリスチャンがいたとしても、恐れ

ませんが、キリストのからだとしての召会を恐れています。キリストのからだはサタンとサタンの王国に敵対して戦う団体の戦士です——エペソ 6:10-20。

VII. シュラムの女は彼女の愛する方の同労者です——雅7:11-12 :

A. 主の働きにあずかるために、わたしたちは資格づけられる必要があります。わたしたちの資格は、わたしたちが人性の美德において表現される神聖な命のあらゆる属性をもって装備されていることにかかっています—— 1-9 節前半。

B. シュラムの女は、彼女の愛する方と共に彼のからだのために働きます—— 11-12 節 :

1. わたしたちの中での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出し、建造するためです——エペソ 3:16-21. 4:4-6, 12, 16。

2. からだはわたしたちの生活と働きの支配する原則です—— 1:22-23. I コリント 12:27。

VIII. わたしたちは今日、シュラムの女とアビガイルの両方である必要があります。シュラムの女として、わたしたちは幕の内側で栄光の、復活したキリストを享受します。アビガイルとして、わたしたちは営所の外で低くされ、苦しんでいるキリストに従います——ヘブル6:19. 13:12-13 :